



THE Y's Men's Club of Atami of Glory



Service Club of YMCA

2024年4月 NO474号

国際会長主題 Ulrin Lauridsen

今月の聖句

アジア地域会長主題 利根川 恵子

「輝かそう、あなたの光を」

東日本区主題 山田 公平
未来の為に今、学びと気づきを
未来の為に、自信を育み、真の
喜びと出会う。

心の迷った者も知ることを得
つばやく者も正しく
語ることを学ぶ
イザヤ29章24節

「変革の為にひかりとなろう」

富士山部部長主題 榎本 博

「NEO富士山部」

熱海グローリーワイズメンズクラブ会長主題

小野田 政弘

「笑顔で挑戦し、変えるものは変えましょう。」

2024年5月例会プログラム

日時 5月22日(水) 18:30~21:00

会場 静岡YMCAセンター
受付 宝田 昌孝
司会 大瀧 峰子

- 開会点鐘
 - 聖句朗読・開会の祈り
 - ワイズソング
 - ワイズの信条
 - 会長挨拶ゲストビジター紹介
 - 書記報告
 - 食前の祈り
- 会長 小野田政弘
神杉 彰
全 員
宝田 昌孝
小野田政弘
書記 勝又 隆吉
小林 隆

会食

- 委員会報告
 - 誕生日・結婚記念日祝い
 - 出席・スマイル・Y基金報告
 - 閉会の言葉
 - 閉会点鐘
- 各委員会
司会者
担当委員会
大瀧 実
会長 小野田政弘

4月例会報告

■ 広報委員会 神杉 彰

温故知新の精神を感じる例会でした



例会風景

小雨の降る中、4月の例会が開かれました。小野田会長から残りの任期が少なくなってきたが、新規の入会を促進して、多くの仲間と協力して今後も会の発展の為に努めたいと開会挨拶が有りました

今回は沼田クラブの長谷川ワイズをお招きして、生みの親である、竹内敏朗さんの半生をご紹介して頂きました。時間の関係で道半ばで終了してしまいました。残念でありますが又の機会に是非ともお聞きしたいと感じました。一言で言いますと非常に精力的に活動なされ、才能と思想と行動で我々の礎を築いて下さったと理解いたしました。その後プログラムが進み菅谷ワイズの誕生日を祝い閉会いたしました。正に温故知新の精神で事業に邁進しなければならないと改めて考えさせられた例会となりました。

在籍者12名(セニア会員3名)		スマイル・YMCA基金		クラブ概要
出席者	10名	スマイル	10,000円	会長 小野田政弘
ゲスト	0名	スマイル累計	116,000円	副会長 綾野 憲夫
ビジター		基金	3,245円	書記 勝又 隆吉
メネット		金累計	26,753円	幹事 菅谷 正
出席者合計	10名		OFFICE 静岡県熱海市上宿町18-9	YMCA熱海センター 0557-82-8521
出席率	100%			
月例会 毎月第4水曜日 18:30~21:00 小野田会長携帯 090-7039-8275				

活動報告

静岡YMCA50周年記念式典



■ 会報・広報委員会 神杉彰

歴代理事長の紹介



初代理事長
藤間 孝夫



第2代理事長
内田 滋



第3代理事長
竹内 俊郎



第4代理事長
森 重男



第5代理事長
稲田 精治



式典風景

大きな節目の価値ある式典でした

令和6年4月28日（日）みしまプラザホテルで静岡YMCAの創立50周年記念式典が盛大に開催されました。静岡YMCAは、他の地域と違い専従の職員はいませんので活動も式典も各ワイズから実行委員が集結し開催となりました。

第一部がウクライナ支援の一環として創立50周年記念コンサートが開会。オクサーナ・ステパニウックさん（ウクライナ出身）の3オクターブの美声と声量に圧倒される1時間となりました。

その後、第二部の記念式典に移ります。

記念式典では、三島市長をはじめ多くのご来賓を賜り、ご挨拶を頂戴いたしました。

また、感謝状贈呈では、熱海グローリーの鈴木ワイズが永年継続会員（50年）の部門で表彰されました。50年間の積み重ねは尊敬というよりも畏敬の念を抱きます。まだまだお元気な鈴木ワイズですから、ともに時間を過ごさせていただければと思います。

第三部は、会場を移動して祝賀会へ。スクリーンでは、この50年の歴史が各クラブの活動が映し出され、ワイズ一人一人に支えられてきた静岡YMCAであることがよく理解できました。その後、熱海YMCA合唱団の演奏があり、第一部でコンサートで美声を届けていただいたオクサーナ・ステパニウックさんも舞台上上がり、壮大な合唱となったことは間違いありません。

今回の記念式典にご尽力いただきました皆様方に大きな感謝を送り、60周年に向けて始動いたします。

活動報告

沼津クラブ長谷川ワイズによる卓話

■ 副会長 綾野 憲夫



熱海大火の直後

竹内さんが陸軍中野学校の出身であることが良くも悪くもその後の人生に大きな影響を与え、特殊才能を買われての進駐軍の軍政部勤務6年間、横浜総領事館勤務2年間など勝ち組のアメリカの給与体系の中で生きてこられた幸運に恵まれました。そして、その仕事を通じてワイズメンの活動へと羽ばたけたのです。反面、中野学校出身であったが故に日本国内では戦争忌避感情を刺激しないように慎重な行動を取らざるを得ず、公職を避けるような姿勢に繋がったとも言えます。その結果がこれもワイズメンの活動に繋がったのです。もし中野学校でなければ、竹内さんは有名経営者や有力政治家になっていたかもしれません。その場合は熱海にワイズメンの活動が根付くこともなかったでしょう。さて、関心事の一つである「何故熱海だったのか」はきわめて偶然の結果だったようです。竹内さんが進駐軍を退職して熱海に来た理由は、昭和27年に終わる占領終結を見越しての昭和26年の退職骨休め旅行だったと言うことです。日光でも箱根でも可能性は同じであったと思われます。でも何となく竹内さんには熱海が似合っていたかもしれません。その当時の熱海は昭和25年の熱海大火から1年しか経っておらず、復興の過程とは言え、被災地域は家屋も未だ建ち上がってなかったであろうし街全体の経済状況は決して良くなかった筈である。しかし、当時の熱海市の首脳陣はこの難事に果敢に挑戦し3日間で復興案を作り、4ヶ月後には熱海国際観光温泉文化都市建設法が制定されるような快事を成し遂げました。それにより経済は3年後には大火前の水準上回るようになったのです。おそらく竹内さんは復興途上にあるこの街の凄まじいエネルギーや創造性を肌で感じ、熱海に投資する事にしたのでしょ。

「竹内俊郎氏の足跡」パート1

昨年の秋からいろいろなワイズの周年記念行事が続き、この活動の創業期を振り返ることが多くなり、中心人物であった竹内敏朗氏にスポットが当てられる機会が多くなりました。しかし、以前から不思議に思っていた何故静岡の外れである熱海YMCA活動の種がまかれたのかとか、あの桁外れの行動力の源泉は何であったのかの疑問はずっと解決されておりませんでした。この辺りの疑問を解決していただけるのではと言うことで今回の長谷川ワイズ卓話に繋がりました。竹内さんは大正12年3月の生まれで私の父親より2歳下ですが、二人とも青年期に陸軍の軍人養成学校に自分の意思で進学した経緯とその直後に天地がひっくり返る終戦の体験をしていることで大変興味を持ってお話を聞きました。

次々期の富士山部長を受けて

■ 書記 勝又 隆吉



勝又 隆吉

「竹内俊郎氏の足跡」パート1

当然のことながら直接立ち上げの苦労話もお聞きする事も出来ませんでした。資料の中からYMCAの加盟で有ったり、英会話コンテストの原点の英会話教室の立ち上げ等を紹介しています。

第2代は内田理事長です。熱海の市長も兼任なさり、熱海にも大きな貢献が為されました。熱海を考える会を開催しました。

第3代は竹内理事長です。勿論、ワイズメンズクラブの設立、あたまYMCAの立ち上げの生みの親です。すべての中心になったことは明白です。

次のビジュアルは各クラブの事業報告です。各クラブから代表的な活動の写真を提供して頂き作成しました。このビジュアルは祝賀会でリピートで流すものです。私たちは「学童野球」「ヒップホップダンス」「俳句の会」紹介させて頂きました。

ビーチクリーン作戦 IV

■ 広報・会報委員会 神杉 彰



お役立ちの笑顔です

私達も笑顔になり心が温くなるひと時でした。7:20作戦終了となりサンビーチにあるジョナサンでモーニングを食べて解散です。そこから眺めるきれいな砂浜は何とも言えない美しさがありました。姪が51円を拾得しましたので、来宮神社に奉納しました。

正しい活動に共感して頂きました。

5月3日(金) 憲法記念日6:00張り切って作戦開始! 気温と関係があるのかわかりませんが、気温が上昇するとゴミも増える、そんな気がするくらい砂浜や階段に大量のゴミが散乱していました。レジャーシートをそのままにしていくゴミ捨てニュータイプが多く、この一回のために購入しそして捨てられていくシートのさみしさを感じ、悲しくなる光景が広がります。そんな中で途中で3人の親子連れの女の子がゴミをもって私の袋に入れてくれました。花火を見る予定が渋滞で観戦できなかったとのことでしたが、早朝散歩をしていた時私たちの活動を見て共感してくれました。笑顔でゴミ拾いを楽しんでくれました。

祝 事

- Happy Birthday
綾野 憲夫さん
- Menettes Happy Birthday
李 英順さん
- Wedding Anniversary
宝田夫妻・大瀧夫妻

静岡YMCA 俳句の会

4月句会

暖春日猫は昼前家出する

正

春の海生まれ育ちも熱海っ子

政弘

春風に身をなし訪ひし故郷へ

おさむ

亡き父の忌七十二歳梅酒あげ

正子

昼のバス客はまばらに桜散る

隆吉

土筆んぼう束ねし子らの赤鼻緒

のり夫

第9回 4月役員会報告

■ 書記 勝又 隆吉

期日 2024年5月7日(火)
場所 静岡YMCA熱海センター
会長挨拶

会長任務の期間が少なくなってきました。残された期間を精一杯務めさせていただきます。御協力をよろしくお願いします。

議題

- 1・創立40周年記念式典について
 - ・式典の会場がニューフジヤホテルに決定
 - ・経費は一人当たり1万円で会場費・食事・飲食込みの値段です。今後詳細を詰めて行きます。
 - ・参加者は100名前後となる予定です。沼津クラブの長谷川氏を迎えて次回の例会で卓話を実施して頂く。
 - ・登録料は12,000円と決定しました。
 - ・式典準備会議を5月17日の18:00に開催する。
- 2・CS委員会
ヒップホップダンスの事業を計上する。
- 3・プログラム委員会
6月の最終例会について表彰式を実施する。
 - ・卓話については内容を精査し、検討する

2024年6月最終例会予告

期日	6月26日(水)
場所	KKRホテル熱海
受付	大瀧 実
司会	菅谷 正
聖句朗読・開会の祈り	神杉 彰
ワイズの信条	大瀧 峰子
食前の祈り	勝又 隆吉
閉会の言葉	綾野 憲夫